

會 告

第五回講演大會開催及講演者募集廣告

來る昭和五年十月上旬、北海道、室蘭市に於て本會第五回講演大會開催の豫定に有之候間御差繰多數御出席相成度候詳細のプログラムは決定次第大略は會告に又詳細は各位へ御通知申上ぐべく候猶同講演大會には可成多數講演者の御出場を切望致す次第に御座候

御出演希望の方は下記要領御覽の上期日迄に何卒本會宛御申込相成度此段謹告候也

昭和五年五月

社團 日 本 鐵 鋼 協 會
法 人

要 項

- I 講演申込期日は昭和五年七月十五日迄とし、同期日迄に演題並講演大要(壹千語以内)を本會宛御送附相成度候事
- II 講演の詳細は本會々誌「鐵と鋼」に掲載可致も講演当日は講演者數に應じ時間に制限を設け大要のみ御講演相願候場合も生じ可申豫め御含置被下度事
- III 講演の詳細を記述せる論文は以上の期日前後に不關可成至急御送附相願度事
(上記期日前に詳細論文原稿御送附の方と雖も必ず壹千語以内の大要は御添付被下度候)

會 告

工學博士服部 漸氏より下記(甲號)の通り記念資金寄附の件御申出有之候に付本會に於ては定款に基き理事會の決議を経て之を受領することとし(乙號)の通り回答し謝意を表し候、猶(甲號)にある資金概算書の精算結果は(丙號)の通りに御座候此段謹告候也

昭和五年六月

社 團 法 人 日 本 鐵 鋼 協 會

(甲號) 資 金 寄 贈 狀

昭和五年二月十八日

服 部 漸

社團法人日本鐵鋼協會御中

拜啓愈々御隆昌奉賀候 陳者小生ノ菲才ナル何等爲ス處ナキニ不拘知友諸氏ノ同情ニヨリ小生ノ爲記念資金ヲ募集セラレ其額モ左記概算書ノ如ク多額ニ上リ之レカ取扱ニ關シテハ實行委員ニ於テ慎重ニ攻究ノ結果小生名義ヲ以テ貴協會ニ寄附シ其使途ヲ左記條件ニ依リ御一任申上クルコトニ相成リ小生ニ於テハ異存無之茲ニ發起人並ニ贊成諸氏ノ意ヲ尊重シ寄附申込候間何卒御受理成被下度候

追テ御承諾ノ上ハ資金ハ八幡製鐵所内記念資金保管委員ヨリ直接貴協會へ送金ノ手續取計可申候

左 記

資 金 概 算 書

現 在 額 _____ ¥ 19,260.03

昭和五年一月迄利息見込額(年三分六厘) _____ ¥ 377.86

計 _____ ¥ 19,637.89

備考 右概算ヨリ資金ノ結末ヲ寄附者各位ニ報告ヲ要シ其他雜費多少可有之

ニ付其費用丈減額ノコト

服部博士記念資金寄附條件

- 一、本記念資金ノ一部(千圓以内)ハ寄附者ノ意向ニヨリ博士胸像資金ニ充當ノコト
- 二、本記念資金ノ保管ハ日本鐵鋼協會ニ於テ確實ナル信託會社ニ現金又ハ帝國公債ヲ以テ信託スルコト
- 三、本記念資金ノ使途及其決定ハ左ノ方法ニヨル
 - (一) 鐵鋼ニ關スル學術並ニ技術ノ發達上ニ貢獻シ特ニ推獎ニ値スルモノニ對スル表彰並ニ其他鐵鋼ニ關スル調査研究資金ニ充當スルコト
 - (二) 前項ノ表彰ニ關スル調査ハ毎年一回以上之レヲ行フコト
 - (三) 右ノ表彰並ニ調査研究資金ノ支出ニ付テハ日本鐵鋼協會ノ選出シタル委員(委員中ニ官立製鐵所員ヲ加フルコト)協議ノ上之レヲ決定スルコト
- 四、本記念資金ハ夫レヨリ生スル利息ノミヲ使用スルモノトス
- 五、日本鐵鋼協會ハ毎年一回本記念資金ノ收支計算ヲナシ之レヲ日本鐵鋼協會々雜誌ニ掲載報告スルコト

(乙號)

受 理 通 知 狀

拜啓愈御清榮之段奉賀候陳者二月十八日附御申込ノ服部博士記念資金御寄附之件ハ本會役員會ノ決議ニ據リ御來示ノ條件ニ從ヒ難有受理スル事ニ相成候間御了承成被下右御禮旁御通知申上度如斯御座候 敬具

昭和五年二月二十六日

日 本 鐵 鋼 協 會

會 長 服 部 漸

工學博士 服 部 漸殿

(丙號)

服部博士記念資金精算結果

¥ 19,696.46	(自三月二十五日 至四月九日銀行利子共)	總 額
内 譯			
¥ 18,290.00	五分利公債額面貳萬圓購入 三菱信託會社へ管理信託す	
¥ 1,270.38	三 菱 銀 行 預 金	
¥20.00	公 債 買 入 手 數 料	
¥110.08	假 拂(自三月一日 至四月十日經過利子)	
¥6.00	昭和四年十一月號掲載記念資 金領收廣告料學士會拂	